令和５年４月度 理事会議事録

東部金属熱処理工業組合

１．招集年月日　令和５年４月７日（金）
２．開 催 日 時　令和５年４月２７日（木）　１４時３０分～１６時００分
３．開 催 場 所　ハイブリッド方式（対面，オンラインを併用）
対面：組合事務所
［東京都港区三田２－１４－４ 三田慶応ビジデンス６０４号］
オンライン：ZOOM による Web 会議システム
４．理 事 総 数　２４人
５．監 事 総 数　２人
６．出席理事数　１７人（対面出席３名、Web 会議システムによる出席１４人）
７．出席監事数　１人（Web 会議システムによる出席　１人）
８．出席理事の氏名
（対面）嶋崎 利行、曽根 光彰、安室 篤志
（Web）南　直樹、齊藤基樹、池田 隆久、上島　健、　秋山 正稔、原田 政吾、
田村 大輔、富居 博治、高橋　明、横山 聡洋、竹内 博次、藤田 亮則、
川村 道夫、後藤 章洋
９．出席監事の氏名
（Web）秦　研二
１０．出席組合員の氏名
出席組合員はいない
１１．議長の氏名
嶋崎 利行
１２．決議事項に特別の利害関係を有する理事の氏名
該当する理事はいない
１３．議事の経過の要領及びその結果（議案別の議決の結果、可決、否決の別及び賛否の議決権並びに賛成した理事の氏名及び反対した理事の氏名）

定刻に至り、嶋崎理事長から挨拶があった。挨拶の後、理事会開会を宣し、本日の理事会は対面と Web 会議システムを利用して行う旨を述べ、出席者が一堂に会するのと同等に適時・的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認し、ただちに議事に入った。

第１号議案　創立５０周年記念事業について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、創立５０周年記念事業の収支決算について資料に基づき、コロナにより１０月に式典、１月に祝賀会と別々開催した関係で支出が多くなり、収入に対して支出が約７８万円超過となったことと記念誌がまだ作成中であることの報告があった。

原田理事から、記念誌が出来ていないことからマイナス分が増えることについて質問があり、嶋崎議長から、記念誌は最終校正の段階で約６０万円の見込みであることの説明があり、１４０万円位のマイナスになる見込みであることの説明があった。

原田理事から、別々に開催したとしても祝賀会費用が高額になっているので、総会の時に質問があるのではないかと意見があった。嶋崎議長から、コロナの状況を踏まえても費用が超過してしまったのは、創立５０周年という節目で皆様に喜んでいただくことを強く推し進めた結果であり、総会時でも十分説明をして、今後引き締めて運営して行くことを伝えたい旨述べられた。補填については、顧問税理士のアドバイスを得て、積立剰余金の約３％（２００万円）の取崩を行い、令和５年度への繰越剰余金を約４００万円としてスタートさせ、プラスの運営を行うように進めて行きたいと説明があった。

嶋崎議長は、最終推敲段階の記念誌について安室専務理事に説明させた。

嶋崎議長は、創立５０周年記念事業について、議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

第２号議案　第５２回通常総会について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から資料に基づき、開催日時、場所、当日のスケジュール及び提出議案等について説明があった。

第５２回通常総会　令和５年５月２３日（火）１４：００～、帝国ホテル東京

続いて、提出議案について第５２回通常総会資料案に基づき、第１号議案令和４年度事業報告承認の件、第２号議案令和４年度決算関係書類承認の件、第３号議案令和５年度事業計画案及び令和５年度収支予算案、経費賦課および徴収方法の件、第４号議案役員報酬決定の件、第５号議案役員選挙の件を上程することの説明があり、まず第１号議案、第２号議案及び剰余金処分案についてそれぞれ詳細な説明があった。

秦監事から、４月２４日に行われた令和４年度監査会の結果について適正に執行されていた旨の報告があった。

続いて嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、第３号議案令和５年度事業計画案及び令和５年度収支予算案について説明があった。

上島理事から、新入社員教育講座（初級熱処理塾）の収支について質問があり、嶋崎議長から、新入社員教育講座の受講者数が少ないこととハイブリッド型での開催のため会場費用が掛かることの説明があった。営利を目的としていいないが、今後の課題として検討する必要がある旨述べられた。

続いて嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、第３号議案経費賦課および徴収方法の件、第４号議案役員報酬決定の件、第５号議案役員選挙の件ついて説明があった。

嶋崎議長から、賦課金及び役員報酬については、昨年同様で行うことの説明があり、役員の改選については、一部退任の申し出があることの報告があった。

安室専務理事から、総会終了後に（一社）日本金属熱処理工業会の金属熱処理業あんしん保険に関する「安全衛生講習会」と賛助会員 PR 会が開催されることと総会前に１３時から理事会を開催することの説明があった。

嶋崎議長は、第５２回通常総会について、議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

第３号議案　青年部会の活動状況について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、３月１０日に開催された令和４年度第３回青年部会について、議事録に基づき説明があった。今回は、ハイブリッド型で開催し、関東経済産業局から麻生課長（対面参加）及び山下係長（Web参加）参加があったことの報告があった。主な内容については以下の通り。

①２月の理事会で承認いただいたように４年間務められた田村部会長が退任し、山田新部会長、横山副部会長、熊木新副部会長が就任することの報告。②関東経済産業局から補正予算等情報提供（ものづくり補助金、事業再構築補助金等について）、③「組合まつり in TOKYO 2022」の報告（今回参加の良かった点、反省点の報告、令和５年１１月８日、９日開催への参加について）、④令和５年度の活動計画について（活動基本方針案：「目の前の仕事を行いながら、先のことも考慮しないといけない。次世代が生き残るために、今やるべきことを見つける。」、4つの柱：ア．講演会・セミナーの開催。イ．熱処理業界のPRについて、ウ．関東経済産業局との連携について、エ．メンバーの意見や要望について）

続いて安室専務理事から、５月１７日に南副理事長、田村理事、山田新部会長、横山副部会長、熊木新副部会長で関東経済産業局に挨拶に行く予定について説明があった。

嶋崎議長は、議場に諮ったところ、青年部会活動状況について全員異議なく承認された。

第４号議案　各委員会等の活動状況について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、３月３日開催の第４回総務委員会について報告があった。主な内容としては、①２月９日開催の SDGs セミナーについて（アンケート結果、今後の取組について）、②令和５年度の事業計画について（年４回開催、SDGs の事例紹介、組合 HP の DX 化、組合で YouTube チャンネルの開設、情報発信、ダイバーシティ採用）③日本金属熱処理工業会「外国人技能実習制度の進捗状況」

曽根副理事長から、令和５年度の第１回は、６月１６日（金）を予定していることの補足説明があった。

嶋崎議長から、SNS や YouTube チャンネルを活用して情報を発信して行くことは必要だと考えているので、是非闊達に若い世代を中心に活動して欲しいと述べられた。

続いて安室専務理事から、3月９日開催の第３回 BCP 推進 WG について、議事録に基づき説明があった。

主な内容としては、①メンバーの交代について、②連携事業継続力強化計画の更新申請について、③安否確認について

安否確認については、現在事務局からメールと FAX で行っている災害時の情報提供について、「調整さん」「Google フォーム」を利用してもっとタイムリーにできないかを検討しており、メンバーにアンケートを実施していること説明があった。

また不定期開催だった WG を年４回（５月、７月、１０月、２月）の定期開催として、基本 Web として年１回を対面開催とする予定で、現在５月の開催を調整中であることの報告があった。

嶋崎議長から、広域連携の形を時間が掛かっても実のある形にしたいと述べられた。

嶋崎議長は、議場に諮ったところ、全員一致で承認された。

第５号議案　令和５年度行事予定について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、資料に基づき令和５年度の行事予定について報告があった。

次回理事会は、５月２３日通常総会前の１３時から予定し、７月、９月、１２月、１月に開催予定していること、開催方法については、対面、Web開催を検討する。

各委員会については、基本Web開催で年１回の対面開催を検討することになっている。

日本金属熱処理工業会の予定について説明があった。

嶋崎議長から、年１回は対面で行うように柔軟に考えて行きたいと述べられた。
嶋崎議長から、議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

第６号議案　報告事項その他について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、資料に基づき、令和５年１～４月の組合員及び賛助会員の異動と４月１日付けの関係官庁の人事異動について報告があった。

以上をもって、議案全部の審議を終了したので、議長より閉会を告げ散会した。

令和５年４月２７日

東部金属熱処理工業組合理事会

議長理事　嶋崎 利行　㊞

出席理事　曽根 光彰　㊞

〃　南　直樹　㊞

〃　安室 篤志　㊞

〃　齊藤 基樹　㊞

〃　池田 隆久　㊞

〃　上島　健　㊞

〃　秋山 正稔　㊞

〃　原田 政吾　㊞

〃　田村 大輔　㊞

〃　富居 博治　㊞

〃　高橋　明　㊞

〃　横山 聡洋　㊞

〃　竹内 博次　㊞

〃　藤田 亮則　㊞

出席理事　　川村 道夫　　㊞

〃　　後藤 章洋　　㊞

出席監事　　秦　 研二　　㊞